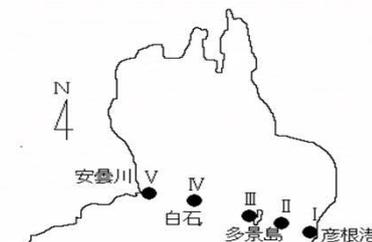


琵琶湖定点定期観測結果速報(令和7年6月)

数値は速報値であり、確定値ではありませんので、ご留意下さい。

調査年月日 令和7年6月9日

調査地点 彦根市～高島市安曇川町に至る5地点
(ただし、湖岸水温は彦根市八坂町
滋賀県水産試験場地先における測定値)



調査地点図

調査結果

平均値 … 5地点の平均値

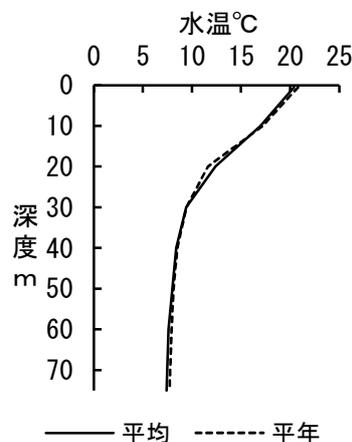
平年値 … 透明度、湖水温、湖岸水温、プランクトン沈殿量は1991年～2020年(平成3年～令和2年)の同時期調査の平均値

DO(溶存酸素濃度)は2015年～2024年(平成27年～令和6年)の同時期調査の平均値

1. 透明度 6月平均値 5.5m 平年値 5.8m

2. 湖水温 (°C)

深度(m)	6月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0.5	20.4	20.8	-0.4
10	17.0	17.2	-0.2
20	12.4	11.6	+0.8
30	9.4	9.4	+0.0
40	8.4	8.5	-0.1
50	8.0	8.1	-0.1
60	7.6	7.9	-0.3
75	7.4	7.7	-0.3



3. 湖岸水温 (°C)

月(旬)	平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
5月下旬	18.5	17.3	+1.2
6月上旬	18.7	19.1	-0.4
6月中旬	21.8	20.6	+1.2

4. プランクトン沈殿量 (ml/m³)

水層 (m)	6月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0~10	36.9	16.4	+20.5
10~20	13.6	6.0	+7.6
20~40	2.3	2.2	+0.1
40~75	0.7	0.8	-0.1

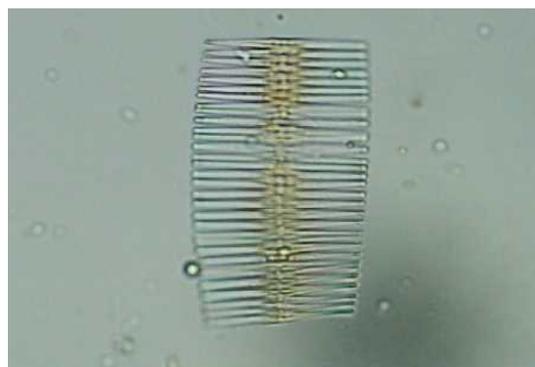
(プランクトンネットNXX14使用)

5. 表層のプランクトン優占種

○プランクトンネットNXX14による採集(5%中性ホルマリン固定。植物プランクトンは地点Iと地点IV、動物プランクトンは全地点)

植物プランクトンについては、両地点とも*Fragilaria crotonensis* (オビケイソウ:珪藻)が細胞数で最も多く認められた。

動物プランクトンについては、全地点でカイアシ類のノープリウス期幼生が個体数で最も多く認められた。



Fragilaria crotonensis



ノープリウス期幼生

6. DO (溶存酸素濃度 : mg/L) 多項目水質計による測定値。

深度 (m)	6月平均値		平年値		平年差	
	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)
0.5	11.4	126.2	10.2	114.7	1.2	(+11.5)
10	11.4	118.8	10.6	112.1	0.8	(+6.7)
20	10.1	93.3	10.1	93.5	0.0	(-0.2)
30	10.5	91.2	10.1	89.1	0.4	(+2.1)
75	8.8	73.1	8.1	68.6	0.7	(+4.5)